

# 競技注意事項

## 1 規則について

本競技会は2021年度日本陸上競技連盟規則並びに本競技会要項及び競技注意事項によって実施する。

## 2 競技者の事前準備

本競技会に参加する競技者は、下記の準備をしておくこと。

- (1) 来場者は、東京陸協ホームページ【<http://toriku.or.jp>】より、「体調管理チェックシート」をダウンロードし、記入をしておくこと。その際に、検温については、競技会出場当日を含む8日間の検温結果を必ず記入すること。
- (2) 競技会出場者は、「保護者同意書」を東京陸協ホームページからダウンロードし、事前に保護者に記入してもらうこと。
- (3) 当日は、マスク、個人用シート、個人用タオル、ゴミ袋、ADカード入れ用首掛けホルダー、筆記具を持参すること。

## 3 競技場の入場及び競技者受付と（T I C）について

- (1) 本競技会は無観客で実施する。
  - ① 競技場内のスタンドに各団体の待機場所を確保することを禁止する。
  - ② 検温チェックを受け、ADカードを所持した指導者・引率者のみ、競技場メインスタンドへの入場を認める。※当該競技者の競技時のみとし、長時間の滞在は認めない。
  - ③ 検温チェックを受け、ADカードを所持した指導者のみ、競技場芝生スタンド・バックスタンドへの入場を認める。※当該競技者へのコーチング時のみとし、長時間の滞在は認めない。
- (2) T I C（競技者インフォメーション）を100mスタート後方、第4駐車場に設置し、団体受付の開始時刻を8時00分とする。
- (3) 各団体の代表者は、事前に記入・回収した「保護者同意書」をT I Cへ提出し、ADカード・アスリートビブス・プログラムを受け取ること。
- (4) 来場者は、持参した「体調管理チェックシート」を代表者へ提出し、ADカードを受け取り、T I Cで検温を受け、発行された確認済みシールをADカードに貼り付けること。  
※代表者は来場した関係者全員の「体調管理チェックシート」を回収し、揃い次第T I Cへ提出すること。
- (5) 開門時刻は、8時15分とする。  
※開門前に来場した競技者及びその指導者・引率者は、ソーシャルディスタンスを保って開場を待つこと。
- (6) 競技エリアへの入退場は100mスタート地点通路とし、スタート地点または競技場所へ移動する際は、必ずマスクを着用すること。
- (7) 競技者・指導者・引率者は入場の際に、手指消毒、及び検温を行う。
- (8) プログラムに訂正箇所（氏名、フリガナ、学年、所属等）がある場合は、出場する競技の90分前までにT I Cに申し出ること。なお、プログラムの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。
- (9) 各自の競技（ウォームアップ）開始時刻に合わせて来場し、競技場に長く滞在しないようにすること。

- (10) プログラムは、残部がある場合に限り、9時30分よりT I Cにて500円で販売する。
- (11) 記録証は1部300円で発行する。希望者は15:20までにT I Cに申し出ること。

#### 4 欠場について

本競技会を欠場する際は、本人または引率者・代表者を通じて、当該競技開始時刻の90分前までにT I Cに申し出ること。

#### 5 招集について

- (1) 招集所を、100mスタート地点後方に設置する。
- (2) 各競技の招集開始時刻・招集完了時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。
  - ① 競技者係の点呼を受けること。その際、アスリートビブスのチェックを行う。
  - ② トラック競技のみ、競技用靴の靴底のチェックを行う。
  - ③ ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
  - ④ 代理人による点呼は認めず、招集完了時刻までに点呼を受けなかった場合は当該種目を棄権したものと処理する。
- (3) 招集所において、競技者は必ずマスクを着用すること。

#### 6 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1) アスリートビブスおよび腰ナンバー標識、安全ピンは主催者が用意する。
- (2) アスリートビブスは配付されたままの大きさと、胸・背の四隅をしっかりと止めること。跳躍競技に出場する選手は胸・背のどちらか片方だけでもよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を競技者係で受け取り、ランニングパンツの右側上部、記載の数字が身体の真横の位置となるように注意して付けること。

#### 7 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは競技場内で行うことができる。競技役員の指示に従い（競技運営上一時的に制限することがある。）、指定された場所・時間の範囲内で、各々が事故防止に万全を期して行うこと。
- (2) 競技場内（競技区域内）に入場できるのは、ウォーミングアップの際についても本競技会に参加する競技者のみとし、指導者・引率者等の立ち入りは認めない。
- (3) 競技区域内での練習は、本競技会に参加する競技者に限定する。（競技区域内で練習する際は、競技者用ADカードを身につけること）
- (4) トラック競技の練習は9時45分までトラック全周を使用してよい。但し、ハードルが設置されるレーンに注意すること。9時45分以後は競技役員の指示に従ってバックストレートで練習することができる。

(5) ハードルの練習については以下の通りとする。

種別	設置レーン	場所	時間
3年男子 110mH	8レーン	バックストレート	9:50 ~ 10:20
2年男子 110mH	7レーン		10:00 ~ 10:30
1年男子 100mH	6レーン		10:10 ~ 10:40
3年女子 100mH	8レーン		10:25 ~ 10:55
1・2年女子 100mH	7・6レーン		10:35 ~ 11:20

(6) フィールド競技の練習は競技開始前に各競技実施場所で競技役員の指示に従って行うこと。

## 8 競技について

(1) 競技用靴について、以下のとおりとする。

- ① 本競技場は全天候舗装のため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、ジャベリックスローは12mm以下とする。
- ② 競技用靴の靴底の最大の厚さは以下の通りでなくてはならない。

トラック種目（800m未満）	20mm
トラック種目（800m以上）	25mm

フィールド種目：日本陸上競技連盟から発出された、TR5.5の適用除外措置を適用する。

- (2) トラック競技はタイムレース決勝で行う。トラック競技の走路順・フィールド競技の試技順はプログラムに示した順とする。ただし、欠場届の提出により招集開始前に出場者が8名以下となった場合は、番組を再編成して行うことがある。
- (3) トラック競技の順位を決定する際、同記録の場合は、写真判定員主任が0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合には、同順位とする。
- (4) セパレートレーンを使用する競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- (5) 800mのスタートはオープンレーンで行う。
- (6) 3000mはグループスタートで行う。
- (7) 競技（練習）で使用する用器具は競技場備え付けのものに限る。但し、棒高跳用ポールは除く。
- (8) ハードルは次の規格で行う。

区分	ハードル間	高さ	区分	ハードル間	高さ
3年男子	9.14m	0.991m	3年女子	8.50m	0.762m
2年男子	9.14m	0.914m	2年女子	8.00m	0.762m
1年男子	8.50m	0.838m	1年女子	8.00m	0.762m

(9) 投てき用器具の重量は次の通りとする。

区分	種目	重量	区分	種目	重量
3年男子	砲丸投	5.000kg	3年女子	砲丸投	4.000kg
2年男子	砲丸投	4.000kg	2年女子	砲丸投	2.721kg
1年男子	砲丸投	4.000kg	1年女子	砲丸投	2.721kg
共通男子	円盤投	1.500kg	共通女子	円盤投	1.000kg

(10) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

区分	練習	1	2	3	4	5	6	競技
共通 男子	1m40 1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	以後最後の1人になるまで3cm刻みとする
共通 女子	1m20 1m40	1m25	1m30	1m35	1m40	1m43	1m46	以後最後の1人になるまで3cm刻みとする

※1位決定のためのバーの上げ下げは2cmとする。

(11) 棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

共通 男子	練習	1	2	3	4	5	6	以後最後の1人になるまで10cm刻みとする
	2m60・3m00 3m40・3m80	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m50	
共通 女子	練習	1	2	3	4	5	6	以後最後の1人になるまで10cm刻みとする
	1m70・2m10 2m50・2m90	1m80	2m00	2m10	2m20	2m30	2m40	

※1位決定のためのバーの上げ下げは5cmとする。

(12) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、審判長が当日のグラウンドコンディションなどを考慮して変更することがある。

(13) グラウンド内は、原則として全て競技区域とする。従って、競技中の助言(指導)は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。グラウンド内からの競技中の助言(指導)は、審判長による警告(イエローカード)及び除外(レッドカード)の対象となる。

(14) ジャベリックスローに適用される競技規則は、やり投の競技規則に準ずる。投げ方に関してはTR38.1を次のように読み替える。

ジャベリックは片手で胴体の部分を握らなければならない。ジャベリックは肩または投げる方の腕の上で投げなければならない。振り回して投げてはならない。上記以外の投げ方は認められない。

下記のラインに到達しない試技については無効試技として扱い、計測はしない。

【男子】30m00      【女子】20m00

## 9 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議を行う場合は、その種目の競技結果が放送により正式発表されてから30分以内にチームの公式な代表者がTICに申し出ること。

## 10 表彰について

- (1) 各種目1位より8位までの入賞者に賞状を授与する。
- (2) 各種目1位より8位までの入賞者はTICで賞状を受け取ること。

## 11 新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう注意

(1) 競技者及び来場者に関して

- ① 来場にあたっては、3つの密(密閉、密集、密接)を避け、参加競技者及び引率者(競技者1名につき1名。保護者引率の場合は保護者可)のみで来場すること。

- ② 競技者及び引率者は競技会当日を含め8日間の検温を実施し、指定の「体調管理チェックシート」に記載し、「保護者同意書」と共に受付時に提出すること。チェックシート・同意書の提出と引き換えに競技者及び引率者には「ADカード」を発行する。提出しない競技者及び引率者については、原則として来場及び参加を認めない。
  - ③ 入場口及び退場口は限定されており、入場の際には必ずADカードを提示すること。ADカードのない者は入場できない。
  - ④ 競技は無観客で行う。ADカードを発行された関係者は入場できるが、引率者は競技者が練習・競技を行うときのみ、スタンドの指定された場所で観戦することができる。
  - ⑤ 体調がよくない場合（例. 発熱（37.0℃以上は再検）、咳、咽頭痛などの症状がある場合）は来場を見合わせる。
  - ⑥ 以下の事項に該当する場合は、来場及び参加を認めない。
    - ・ 当日の体温が 37.5℃以上あり、強い倦怠感と息苦しさがある。
    - ・ 同居家族や身近な知人が感染している、または感染が疑われる状態にある。
    - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある。
  - ⑦ 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (2) 来場及び競技の参加にあたって
- ① 参加者は競技の2時間前に合わせて来場し、競技終了後速やかに帰宅すること。
  - ② 来場にあたっては、マスク・マイタオルを持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用すること。
  - ③ 石けんを用いた手洗い・手指消毒を励行する。
  - ④ 声を出しての応援、集団での応援は行わない。
  - ⑤ ウォーミングアップ・招集等については、競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
  - ⑥ 競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行うこと。
  - ⑦ 飲食等の際は感染リスクが高くなるため、短時間・ソーシャルディスタンス・換気の良い場所で行うこと。なお、スタンドでの食事は禁止とする。（水分補給、飲料の摂取は可）
  - ⑧ 飛沫拡散を防ぐため、応援や大声・近距離での会話を避けること。
  - ⑨ タオル、ペットボトル、コップ、皿、袋等の共用を控え、個人用を用意すること。また、ゴミは各自で持ち帰ること。

## 1.2 その他

- (1) スタンドでの盗難・置き引きには各自が十分に注意すること。主催者は一切の責任を負わない。
- (2) 傷害・紛失・その他の事故やトラブルについて、応急処置を除き主催者は一切の責任を負わない。
- (3) 本部前は通行禁止とする。また、セーフティコーン設置場所には立ち入らないこと。
- (4) 競技場内の整備に努め、帰るときは自席周辺の清掃を行うこと。
- (5) 届けられた遺失物については、T I Cで保管する。保管期間は競技終了時までとする。
- (6) その他不明な点はT I Cに問い合わせること。

競技会コード 21 13 0011  
 競技場コード 132080